

⑧カートコース

パークの外周にはカートコースを設置します。カート場は安全に走行でき、小原の絶景をながめられます。カートはとてもリアルで、大人でも楽しめます。

⑨ムシムシ大作戦

ここからは季節限定イベントの紹介です。夏には「ムシムシ大作戦」です。森を囲ってその中にカブトムシとクワガタの幼虫を住まわせ、夏に子どもたちに、虫採りを楽しんでもらうイベントです。外国のカブトムシも輸入して、展覧会を開催します。

⑩キャンドルフェスティバル

冬には、キャンドルフェスティバルを行います。ろうそくやプチ氷かまくらを、パークを訪れた人たちに作ってもらい、パーク歩道の両側に飾ります。ソーランやバンド、太鼓などのイベントもあり、盛り上がること間違いなしです。

このように、今ある施設をうまく利用しながら、さらに楽しい場所にしたいと考えました。

市民の皆さんが楽しめる場所になりますし、ほかの地域の方々も観光にやってくることで、白石の活性化に一役買ってくださるでしょう。

南中学校

「大型ショッピングモールを造る」

発表者 佐藤悠利さん、安藤志織さん、川島裕人くん（3年）

大型ショッピングモールには、衣食住に関するさまざまな店舗が集まり、「生活の場」「憩いの場」「楽しむ場」の3つのコンセプトで構成する大型複合ショッピングモール構想を考えました。

「生活の場」として、私たちの生活には欠かせない食料品や衣料品を扱う店が必要だということです。また、小さな子どもがいるご家庭のことを考えて託児所を設置し、安心して買い物ができるような配慮も必要だと考えています。

次に「憩いの場」として、マッサージルームや温泉施設を併設します。毎日、仕事で疲れ切っている大人の方々を中心に、心身をリフレッシュできる、やすらぎの場を提供したいと考えました。温泉施設には内湯だけでなく露天風呂やサウナ、岩盤浴などを設置することで、小さな子どもからお年寄りまで、じっくり、ゆつくり楽しめる施設にできると思います。

3つ目に「楽しむ場」として、スポーツアミューズメントパークを取り入れてはどうかと考えました。さまざまなスポーツを実際に楽しめる体験型スポーツ施設です。

市長回答

桃ソフトクリーム、あつたら食べてみたいですね。足湯は、かつらの湯をぜひ活用してください。そこで、地場産品などの販売を行うのはどうでしょうか。今、市議会議員の皆さんが協力して、「軽トラ市」という地場産品などの販売をする市を10月から始めました。これがかつらの湯の場所で行うのも良いのではないのでしょうか。



▲中学生の提案に笑顔で答える風間市長

今ある施設を利用することがとても大切ですね。そのためには、自分たちの地域には、何があつてどういふことができるかを勉強する必要があります。この発表では、勉強したことがよく分かる素晴らしいものでした。みんな白石に残つて、白石のために頑張つてほしいと思います。

白石中学校

「白石の特産物を使った新商品の開発」

発表者 戸羽華奈子さん、半沢光さん、安藤次郎くん（3年）

本校では、総合的な学習の時間に「白石の未来への提言」と題して活動しています。これは「ふるさと白石」のより住みやすいまちづくりや、より魅力あるまちづくりについて考えをまとめ、提案にする活動を通して「白石のまちを活性化させよう」という思いから始まりました。

現在、白石中の3学年136人は、37班に分かれ、いろいろな提案をしようと話し合い活動をし、そして具体的に提案できるように街の人にアンケートを採つたり、特産物を開発したりとたくさん提案を考えました。今回は、そのうち2つの班の提案を発表します。

劇により発表が行われました。劇に博士とうーめん博士が、白石の特産物を使った新商品の開発競争が行われ、その結果、それぞれに新商品を開発し、お殿様役の風間市長に試食してもらいました。

新商品

- ・うーめんを揚げた作った「うーめんかりんとう」
- ・くすを使った「くすプリン」

います。店があり、人が集まれば働く場所も増え市の税収も増えます。市が潤えば、また新たな施策を実行に移せるなど、それが私たち市民に還元されるようになります。便利で、安心して生活できる場を提供すれば人口も増え、それはやがて市の活性化につながっていくと思います。この提案の実現にはたくさんのお金と場所が必要ですが、その後の効果は絶大だと確信しています。

最後になりましたが、これから白石市についてあらためて考え直すことができました。私たちは今、本市の発展のために何ができるのか。また、これから大人になつたときに、生まれ育つたまちにどのように貢献できるのでしょうか。今はまだ分かりませんが、郷土を守り、発展させたいという気持ちを常に持ちながら、これまで以上に住みよいまちになるように、私たちが率先して協力したいと思っています。

市長回答

皆さんの提案を聞いて、これからのまちづくりの計画として、白石から白石駅までを一体化したものを考えていかなければならぬと思います。皆さんの発表の最後に、私たちに今何ができるかという問いかけがありました。今の皆さんには、



▲病気の父親に栄養満点のうーめんを食べさせる味右衛門吉野真紀さん(左)と小林花菜子さんの名演技！

市長回答

両方とも、とてもおいしいですね。お店で出したいくらいおいしい



▲演劇で発表を行う吉野真紀さん(左)と田切花歩さん(右)

いので、どなたかお店で採用してくれませんか？ 37班に分かれて白石の未来への提言をしてくれたということは、本当にすごいですね。でも、白石のものを愛しながら、新しい発想でこれまでのものを作り上げたことは、大変素晴らしいことです。

来年の10月から12月まで仙台・宮城ステイネーションキャンペーンが行われ、日本全国からお客さまが白石にやってきます。今はその1年前ということでプレキャンペーンを行っていますが、まちの中で「賑わいづくり研究会」の皆さんなどいろいろな方々が、自分たちの素材を生かしたものを売つていこうと、今あるものを利用して音が出るようにしようとか、こけしの風鈴を作ってみようとか、今はあるものを利用することが大切だと思います。本当に商品化してほしいですね。



▲南中学校は「生活の場」、「憩いの場」、「やすらぎの場」を分かりやすく説明。

まず白石を知ってもらつてそして好きになってほしいですね。白石城、東北本線の駅、新幹線の駅、そして高速道路のインターチェンジがあるわがまちは、日本全国4万人の都市でこれだけのものを持つている都市はないと思えます。そして、きれいな水があつて、こんなに素晴らしいまちなのに、私たちは長く住んでいるうちに当たり前前だと思つて「何もないうち」と思つてしまつていっているのではないのでしょうか。自分が好きな白石を一つで良いので見つけてみてはどうでしょうか？ そして、皆さんから白石の良いところを発信していただきたい。皆さんの郷土を守つて発展させていきたいと思う心は大変ありがたいことです。